

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

保育園

使用済み紙おむつ回収を

衛生面、財政面等を検討



吉川 まゆみ 議員

問 保育園での使用済み紙おむつの取り扱い。子ども支援室長

保育園敷地内の屋外の決められた場所に、園児ごとのビニール袋をセットし、ここに保育士がその園児の使用済み紙おむつを入れ、帰りのお迎えの際に保護者が持ち帰っている。

問 保育士や保護者の負担軽減と衛生面への配慮

として、使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止し、園で回収する方法にできないか。

子ども支援室長 3園で回収する場合、未満児約100名分、1日450枚程度が見込まれるため、保育園での保管場所の確保が必要である。そして、保管にあたっては、衛生面など慎重に対処する必要がある。

問 県内でも持ち帰り廃止の自治体が増えてきた。最近では、箕輪町、千曲市など新たに園での回収を決定した。当町も園での回収とした場合、その保

管と処分方法は、子ども支援室長 衛生的に保管できる保管庫の用意が必要。処分方法は、燃えるごみとして処分するため、できるだけ早い収集が望ましいので、現在

の週2回の収集回数を増やすなどの方法がある。まずは、保育園での衛生面を考慮し、保育士への負担や財政面等も合わせて検討する必要がある。



毎日持ち帰る使用済み紙おむつの袋
(坂城保育園)

質問項目

吉川 まゆみ 議員 4ページ

- ① 子宮頸がんワクチンについて
- ② 使用済み紙おむつの取り扱いについて

西沢 悦子 議員 5ページ

- ① まちづくりについて
- ② 町奨学金について

塩野入 猛 議員 5ページ

- ① 18号バイパスの工事状況について
- ② 野生鳥獣等の被害対策について

滝沢 幸映 議員 6ページ

- ① 青少年の健全育成について
- ② 地域の環境問題について

中嶋 登 議員 6ページ

- ① 小・中学校給食費を無償に
- ② 子ども食堂について
- ③ ふるさと納税について

朝倉 国勝 議員 7ページ

- ① 次期町長選への出馬の考えは

栗田 隆 議員 7ページ

- ① ワクチン副反応及び後遺症について
- ② ゴミ収集について

柘津 明子 議員 8ページ

- ① 発達障害児への支援について
- ② 人口減少を食い止めるために

大森 茂彦 議員 8ページ

- ① 学校給食の無償化に向けて
- ② マイナンバーカード取得の在り方は
- ③ 保育内容の充実のために
- ④ 加齢による補聴器の助成制度の創設は
- ⑤ 酪農・畜産業に支援を

大日向 進也 議員 9ページ

- ① ワクチン接種と感染状況について
- ② 県道坂城インター先線進捗状況について

玉川 清史 議員 9ページ

- ① 生活環境の整備について
- ② 犯罪被害者支援について
- ③ 食の安全について

山城 峻一 議員 10ページ

- ① 信州型自然保育について
- ② とともに生きる障がい者福祉について



西沢 悦子 議員

完成の見込みは

令和8年度竣工の予定

複合施設

問 保健センターと老人福祉センターを統合した新たな複合施設の建設に向け、準備が始まった。実施計画では、本年度は建設準備委員会を開催、5年度は基本構想・基本計画の策定、6年度は測量・地質調査・基本



建設予定地（文化センター体育館東側）

設計・住民説明会となっている。施設を更新する大きな事業をどのように進めるか。

町長 町の将来像「輝く未来を奏でるまち」を体現する施設とし、あらゆる年齢層の人に親しまれ、それぞれの目的で利用できるようにと考えている。

問 建設予定地についての計画は。

福祉健康課長 現在の老人福祉センター周辺を想定している。

問 住民要望や意見を聴取するのはいつか。

福祉健康課長 現在、建設準備委員会で基本構想の策定を進めている。来年度予定の基本計画策定にあたり、建設委員会に移行。その中で要望や意見を聞いていきたい。

問 事業費の見込みと完成の予定は。

福祉健康課長 公共施設個別施設設計画の中で、本体工事を16億円としているが、計画を進める中で算定していきたい。また、建設工事は令和8年度中の竣工をめざし、取り組んでいきたい。

バイパス

供用開始への見通しは

時期など示されていない



塩野入 猛 議員

問 4年度の工事の進捗状況は。計画どおり進められているのか。また、工事も佳境に入り始めた中で、完成・供用開始に向けた見通しは。

町長 約8億円の事業費が配分され、設計調査と埋蔵文化財調査、用地買収、改良工事が予定され、順次事業が行われている。

建設課長 現時点で供用開始の時期など示されていない。事業の進捗を図るべく、関係機関への働きかけを行っていく。国道事務所、県、関係機関と

連携し、バイパスの整備促進に努める。

野生鳥獣等の被害対策

問 村上地域は、野生鳥獣侵入防止柵の設置が完了し、山沿いの田畑は効果があるが、里の平地や

河川敷の農作物に被害が出ている。被害調査を行って対策を講じてほしい。

駆除一辺倒では解決は見込めない。環境面や生態系などによる被害対策が肝心だが、考えは。

商工農林課長 猟友会とも相談し、被害対策について、捕獲、防除、環境整備を組み合わせた総合的な対策で効果を得られるよう、有害鳥獣対策協議会とも検討したい。



地盤改良工事をしている超大型機械（バイパス予定地）

部活動

地域移行への進捗状況は

千曲市と協働で進める



北信越中学校剣道大会出場の坂中剣道部
(令和4年8月5日 県立武道館：佐久市)



滝沢 幸映 議員

問 小中学校の課外活動、部活動の大会での活躍状況は。また、中学校休日の部活動地域移行の進捗状況は。

答 教育文化課長 南条小金管バンドが、東海バンドフェスティバルに毎年出場をしている。中学校部活動での主な活躍は、今年度、剣道部が北信越中学校剣道大会女子団体戦

及び個人戦に女子2名が出場をした。移行への進捗状況は4年7月、千曲市・坂城町各団体の代表で組織された「中学校部活動地域移行推進会議」において協働で進めることが決定。これを受けて8月に、「運営準備会」を設置し、今後の運営、規約、指導者の確保や報酬等検討している。

地域猫活動

問 この一年間の活動状況と、新たに計上された補助金25万円の内容は。

町長 3年12月、地域猫活動の推進に取り組みボランティア団体が発足し、地域と行政を加えた取り組みがスタートした。この一年、不妊化手術は127頭、13自治区に及び、大きな成果と捉えている。

住民環境課長 補助金の内容については、メスの不妊手術費用とオスの去勢手術費用で、3月までの30頭分を見込む。

学校給食

小中学校給食費を無償に

勉強させてもらいたい



中嶋 登 議員

問 県内の自治体では学校給食費の無償化が進んでいる。現在はコロナ禍であるとともに、子どもたちを育てる親世代は給料も上がらず疲弊している。無償化することで保護者負担の軽減だけでなく、少子化対策や食育学習にもつながる。長和町、青木村など県内の21自治体が給食費の無償化を実施している。坂城町も速やかに学校給食費の無償化を行うべきであると考えますが町の考えは。

教育長 学校給食費は、平成26年度から今年度まで

改定していない。一律に給食費無償化ではなく、現行の支援策の中で必要な保護者に対し、給食費の負担軽減を行う。
町長 無償化について勉強させてもらいたい。ふるさと納税について

問 私が提案してから、6年がたち、右肩上がりです。寄附額が増えてきたが、今後の見通しは。
町長 令和3年は2億5800万円であったが、4年11月末現在では1億1000万円程で、前年同期と比較し寄附額が5割程度となっている。今後の見通しについて、寄附額の目標設定は行わないが、寄附を通じて町を応援していただける方が一人でも増えるよう取り組んでいきたい。



学校給食費を無償化に

町長選

次期出馬への考えは

議会最終日に話したい



朝倉 国勝 議員

問 3年間、コロナ禍が続くこの

は多大な影響を受けている。ここへ来て、日本ではようやくウイズコロナの状況が見られるが、ロシアのウクライナ侵攻が燃料価格の高騰を招き、エネルギー危機、諸物価の高騰や食料危機、円安の進行等深刻な状況を作り

出している。坂城町においてもこうした情勢に処していくため、町民や事業所などに対し、引き続き切れ目のない支援が必要である。

こうした中、次期町政を担う人は、国内外の政治経済を取り巻く環境や坂城町の産業、教育、福祉、行政運営等を十分理解し、課題解決に尽力できる人でなくてはならない。

多くの町民が山村町長に4期目の出馬を強く望んでいる。次期町長選出馬への考えは。

町長 これからの4年間は長期総合計画や総合戦略の実現に向け、新しいまちづくりを進める大変重要な時期と認識しており、4期目の出馬は大変重い意思決定であると考えている。支持者や皆さんの意見を聞き、相談するなかで、今議会の最終日に改めて話したい。



坂城町庁舎

後遺症に対する見解は

懸念はないとされている

ワクチン

問 厚生労働省の11月11日の発表では、コロナワクチン接種後(因果関係判定不能ではあるが)1908名が死亡している。欧米では接種の危険性に気付き接種を控える状況となっている。ワクチン接種については、いったん立ち止まって考えるべき時と考える。町としては接種の体制を整えるのは当然であるが、接種受付方法の見直しは考えているか。

町長 現在のところ予約方法についての変更は考えていない。

問 FDA(アメリカ食品医薬品局)の調査では乳幼児へのワクチンの発症予防効果は14・4%しかない。副反応リスクが高いため接種を禁止とした国もある。当町にも副反応と疑われる症状で苦しんでいる方が少なから



栗田 隆 議員

ずいる。10年後20年後にどうなるかの治験が一切ない現状では、若年層への接種は慎重であるべきと考えるが町の見解は。また、副反応が起こった場合の町のフォローアップは。

町長 副反応については、国によると、現時点で重大な懸念は認められないとされている。しかし極めてまれに健康被害が起ることがあり、国による救済制度が設けられている。健康被害が生じた場合には保健センターに相談してもらいたい。



ワクチン接種会場

定住施策

住宅地の確保を 優良な住宅地を確保



赤津 明子 議員

問 日間人口及び夜間人口は。町長 最新の令和2年国



勢調査の結果によると、日間人口は1万5029人。夜間人口は1万404人。

問 定住につなげる施策は。町長 平成28年度から、空き家バンクに登録された物件に係る補助制度、29年度から、自らが移

住・定住する目的で、町内でマイホームを新築する方などに対する移住定住促進補助金、30年度から、結婚に伴う住宅の取得やリフォーム、引っ越し費用等支援する結婚新生活支援事業を実施するなど、新たな事業展開を図っている。

問 住宅地の確保と荒廃化した農地の土地整理を進め、宅地や事業用地を増やしたらどうか。町長 町の国土利用計画では、人口減少などによる、低・未利用地や空き家などの増加を課題として捉え、土地の有効利用を促進し、低・未利用地と空き家などを含む既存住宅ストックなどの有効利用を図り、住宅地、産業用地の確保を図るとしている。今後、幹線道路の整備が進み、交通環境も大きく変化していく中で、町土の有効活用を優先し優良な住宅地の確保を図る。

学校給食

給食費の無償化を 保護者負担を基本に



大森 茂彦 議員

問 食育は、学校教育の一環である。憲法には「義務教育は無償とする」としている。完全無償化を求める。教育文化課長 町では保護者負担が基本だ。食材も高騰しているが、負担増のないよう献立や食材で工夫。困窮家庭の子に

は就学援助で対応している。町長 先に質問した議員には、「負担が少なくなるよう色々検討しよう、段階的にかもしれない」と答えた。今の立場で責任ある答えは言えないが、そのあかつきには議論したい。

保育士の配置基準見直し 町長 御代田町では、子育て支援や移住・定住事業も実施しながら、給食費の無償化で人口増である。財政力指数が県内町村で3位の当町が、できないことはない。

問 人格形成に大事な時期に、言葉の発語を促し、しっかりと受け止め、子どもに声掛けが必要。現在、1・2歳児を担当する保育士1人で園児6人をみている。3人にできないか。子ども支援室長 基本的には、園児6人に対し1人で対応。年度当初は、補助の保育士を配置している。

1月のこんだてひょう

日	月	祝祭日	行事	その他
1	1			
2	1			
3	1			
4	1			
5	1			
6	1			
7	1			
8	1			
9	1			
10	1			
11	1			
12	1			
13	1			
14	1			
15	1			
16	1			
17	1			
18	1			
19	1			
20	1			
21	1			
22	1			
23	1			
24	1			
25	1			

栄養価を考えた献立

インター線

先線開通の見通しは

令和5年度中に開通



大日向 進也 議員

問 インター線先線の終了点部と町道の交差部は、どのようなになるか。

建設課長 将来の右折車線を考慮し、国道18号交差点と同規模の全幅17mで暫定的なT字路交差点として整備を進めている。接続する町道について、



インター線先線の終了点部（中之条）

て、工業団地側（南側）は、既存の町道と同様に2車線で片側2mの歩道を設け全幅12m、延長80mの整備を行う。また、中之条側（北側）にも2車線で全幅7m、延長120mの付替道路の整備を行っている。

問 開通の見通しは。

建設課長 令和5年度中を目指す。

問 インター線先線延伸区間の現状と計画は。

建設課長 現在事業施工中のインター線先線の終了点部から、千曲川を渡って国道18号バイパスに接続する網掛地区延伸区間として、3年度から千曲川の橋梁予備設計を行っている。また、4年度は、計画延長約900m、全幅14mとなる道路基本計画を策定した。新たな延伸区間の基本計画の概要として、中之条地区の千曲川堤防まで延長約280m、千曲川を渡る橋梁部分は延長約440m、網掛地区の堤防から国道18号バイパスの接続部までの延長約180mとなる。



玉川 清史 議員

問 新しい遺伝子技術で作られたゲノム編集食品が市場に出始めている。国は自然界でも起きる変異だとして、遺伝子組換え食品に義務付けている安全性の証明やゲノム編集食品であることの表示も不要としている。

しかし一方で、新しい技術のため安全性の心配を指摘する研究者もいる。また、消費者からは安全性の不安と表示がないため、食品選択ができないとの声がある。学校給食の食材としての町の考えは。

教育文化課長 ゲノム編集食品の安全性などを慎重に判断する必要がある。心配な間は使用しず定はない。また、遺伝子組換え食品も給食には使っていない。

未管理の空き地への対応



食育・学校給食センター

問 管理されていない私有地の雑草を草刈りしたい人がいる際に、町が間に入って地主や管理者と草刈りの希望者をつなぐことは出来ないか。

住民環境課長 条例では所有者等の空き地の適正管理を定めている。

希望者が所有者に代わって草刈りできるように、所有者に希望者の連絡先を伝えたこともあ。町に相談をしてほしい。

給食食材

ゲノム編集食品の使用は

心配な間は使わない

自然保育

認定制度活用の考えは

引き続き研究していく



山城 峻一 議員

問 町内保育園の自然に
関わる保育の現状は。

答 子ども支援室長 園外保
育では、和乎公園やばら
公園、びんぐしの里公園
の展望台に出かけ、落ち
葉や花に触れたり、虫を
探したりする活動を行っ
ている。普段は、お散歩に
出かけ道端の草や花、川
の流れなどの日常的な風
景を毎日見ること、天
気や季節による小さな変
化を体験し、子どもの豊
かな感性を育てている。

問 長野県は信州型自然
保育「信州やまほいく」認
定制度を進めている。

この制度を導入するメ
リットは、①子どもの体
力や自己肯定感の向上が
期待できる②認定を受け
ることで県主催の研修会
への参加が可能③認定園
を個別に紹介するサイトを
開設しており、全国に



県のパンフレット

広報できることである。
坂城町もこの認定制度
を活用していく考えは。
子ども支援室長 登録に
あたっては、外部の研修
への参加や対外的に事例
発表を行った保育士がい
ることなどの要件があ
る。登録後は毎月の計画
書の作成や、活動報告書
の提出が必要となる。引
き続き、保育士への負担
を考慮する中で研究して
いきたい。

議 会 日 誌 (主なもの)

- 10月**
- 3日 町表彰選考委員会
 - 4日 千曲坂城消防組合議会定例会
 - 5日 総務産業常任委員会
 - 6日 町「まち・ひと・しごと創生総合戦略」検証委員会
 - 7・13日 議会報編集委員会
 - 11日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会中央要望
 - 19～20日 社会文教常任委員会（閉会中の調査）
 - 21日 千曲衛生施設組合議会定例会
 - 22日 町表彰式
 - 24日 議会全員協議会
 - 25日 町例月現金出納検査/上田地域広域連合議会定例会
 - 26日 葛尾組合議会定例会
 - 27日 上田地域広域連合議会定例会
 - 27～28日 千曲坂城消防組合議会行政視察
- 11月**
- 1～2日 千曲衛生施設組合先進地視察研修
 - 4日 六ヶ郷用水組合議会定例会

- 11月**
- 7日 町土地開発公社視察研修
 - 8～9日 葛尾組合議会視察研修
 - 10日 町戦没者追悼式
 - 10～11日 六ヶ郷用水組合議会研修視察
 - 14～15日 総務産業常任委員会（閉会中の調査）
 - 18日 町温泉施設改修工事竣工式
 - 21日 議会全員協議会/実施計画策定懇話会/町介護保険運営協議会
 - 24日 長野広域連合議会定例会
 - 25日 町例月現金出納検査
 - 28日 議会運営委員会
 - 30日 定期事務監査報告
- 12月**
- 5～16日 12月議会定例会
 - 5・20・27日 議会報編集委員会
 - 15日（公財）さかきテクノセンター運営委員会
 - 20日 町国民健康保険運営協議会
 - 26日 町例月現金出納検査

表紙



第52回元旦マラソン大会が、1月1日(日)に行われました。
おだやかなお正月を迎え3年ぶりの開催です。昨年は雪のため、一昨年は新型コロナウイルス感染症の蔓延のため中止でした。今回は、コロナ対策として参加人数を限定しての開催となりましたが、今年一年の健康を願って100名を超えるランナーが参加されました。
親子ペアの部、小学生の部、一般の部に分かれ、町長・町議長の号砲により、ランナーたちは大勢の声援を受けるなか、元気いっぱい駆け出しました。
写真は、今年の飛躍を願い参加した、ドッジボールチームの皆さんです。
(写真 小宮山定彦、文 大森 茂彦)